都市再生整備計画 事後評価シート 羽島市中心市街地地区

令和2年3月

岐阜県羽島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜	県	市町	村名		羽島市		t	也区名		羽島市	市中心市街 :	地地区	面積	420ha	
交付期間	平成28年度~	平成30年度	事後評価	実施時期		令和元年度	Ę	交付	対象事業費		236百万円	国費率	0.4			
										事	業名					
	当初計画に位置づけ、	基幹事業	道路事業(大	垣一宮線、騳	R北本郷8-7号	、8-9号区画	道路)、公園事	業(市民の森	羽島公園、駅北	本郷3号街区公	園)、地域生活基盤	盤施設(駅北	本郷2号調整池、平方排水路、防	災備蓄倉庫)		
	実施した事業	提案事業	地域創造支援	賽事業(防犯:	灯設置工事費	浦助)										
	an test —	1			事業	美名				削除/i	追加の理由		削除/追加に。	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から	基幹事業			-				-					-		
1)事業の実施状況	削除した 事業	提案事業			-				-					-		
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤	š施設(自転)	車駐車場)								う、 駅駐輪場:安全で快適な 指標については据え置く。	居住空間に関する目標に資する	る事業であるが、	
	提案事				-						-			-		
	交付期間 の変更	当 初		-			交付期間の変更による事業、						_			
	変 更		-	(、数値目標への 目標		数	値	目標	1年以内	か 思	発現要因	フォローアップ		
		指 標		単位	1/E FI)	基準年度	日保	目標年度	モニタリング	評価値		達成見記		完現安囚 合所見)	予定時期	
	指標1	駅北本郷地[区の宅地化率	%	48%	H28	55%	H30	53%	61%	0	あり なし	土地区画整理事業による基環境の向上が宅地化につなる	盤整備や公園整備等による居住がった。		
2)都市再生整備計画 に記載した目標を	指標2	2 市民の森羽島公園の1日 あたりの利用者数 人/I		人/目	585人/日	H28	643人/日	H30	_	700人/日	0	あり なし	日除け施設の整備とともに 効果もあり、利用者数の増加	宅地化が進む近隣エリアとの相乗 につながった。		
定量化する指標 の達成状況	指標3											あり なし				
	指標4											あり なし				
	指標5											あり なし				
		指 標		単位	従前	値 基準年度	目標	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内達成見記		発現要因 合所見)	フォローアップ 予定時期	
3)その他の数値指標(当初設定した数値	その他の 数値指標1	換気設備付 の設置数	防災備蓄倉庫	箇所	12箇所	H28				14箇所			割される備蓄物を補完するた	自加指定、及び市全体で不足が予め、防災備蓄倉庫を整備した。新 、 災害発生時における被災者を対 献している。		
目標以外の指標)による効果発現状況	その他の 数値指標2		用施設におけ 又容可能台数	台	2,347台	H28	H28			2,413台				して有効活用し、サイクルラックを 転倒防止と同時に自転車等収容 こ。		
	その他の 数値指標3															
4)定性的な効果 発現状況	土地区画整理	事業の推進に	より、駅北本组	地区におい	て良好な居住	空間の形成を	と図ることができ	、また公園	日除け施設の整備	構により、公園の)利用者数の増加	につながり、	地域の活性化につながった。			
20 20 F 1120					実施	内容			+n + = + +- +-	実施状			今	後の対応方針等		
	モニタリ	リング	駅北本郷地	区の宅地化	;率のデータ収	集によるモ	ニタリング		都市再生整備計		に施できた いったが、実施した 実施できなかった		他地区での土地区画整理事業を 3地化率の確認とともにまちづくり		集内容を活用し、	
5)実施過程の評価	住民参	£ h⊓							都市再生整備計画に記載し、実施できた・基盤整					盤整備が完成した当地区を先進事例とし、他地区でのまちづくりを検討する際に		
0/犬心地性の計画	プロセ		駅北本郷ます	ちづくり委員	会								. アリング 寺を美施りる。 今後も地域住民が自ら考え意見3 , づくりへの愛着を高める。	を換ができる市民参加型のイベ	ント等を通じて、ま	
	持続的なま 体制の		羽島市平方	第二土地区	画整理組合				都市再生整備計		に施できた いったが、実施した 実施できなかった	• †	地区内の整備状況や土地利用及 者と協議を行い、まちづくり体制を 新たな市街地形成に向けた活動	維持する。	区の地権者の代表	

様式2-2 地区の概要

羽島市中心市街地	地区(岐阜県羽島市) 都市再生整備	計画事業の成果概	既要							
まちづくりの目標	まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 目標値 評価値									
	1.駅北本郷地区の宅地化率	単位:%	48%	H28	55%	H30	61%	R1		
	2.市民の森羽島公園の1日あたりの利用者数	単位:人/日	585人/日	H28	643人/日	H30	700人/日	R1		
害に強く快適で心安らぐまちづくりを目指して										
□ 基幹事業	主致代表	■基幹事業 公園 市民の	D 森羽島公園休憩施設設置	事業	(C) (D) (S) (M) (S) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M					



まちの課題の変化

・災害時の防災拠点となる市役所において、耐震や水害の面で整備が必要である。また、情報・防災庁舎と市役所との連携が緊密にできるようにする必要がある。

・公共団体施行の土地区画整理事業による災害に強いまちづくりのための都市基盤整備が駅北本郷土地区画整理事業の換地処分(R1.8.30)により完了したため、引き続き組合施行の土地区画整理事業の支援を行い、計画的な都市 基盤整備を進める必要がある。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む) ・安心・安全な庁舎を目指し、情報・防災庁舎のほか耐震性に優れた新庁舎を建設し、災害時には新庁舎と災害対策本部が緊密に連携できるようにする。また新庁舎建設とともに、市役所全体の敷地の活用を図り、災害時の拠点施設 として整備を進める。

・災害に強い安全性の高いまちづくりのため、施行中の土地区画整理事業の支援を行い、計画的な都市基盤整備、土地利用を進める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1)成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2)実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3)効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-3 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-3 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5)事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

(6)評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

(7)有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

		更	変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		•			
B. 目標を定量化する指標	•			【指標1】駅北本郷地区の宅地化率:48%/基準年度:28 年度	指標1:従前値の基準年度を平成28年度に変更し、併せて従前値の値も変 更する。
口. 口标とに里心り切出标			【指標2】市民の森羽島公園の1日あたり の公園利用者数:741人/基準年度:27年 度		指標2:変更前の従前値が1日のみ測定して算出した値となっているため、測 定日を増やして算出した値に変更する。
C. 目標値	•				指標2:B(目標を定量化する指標)の従前値の変更に伴い、目標値についても見直す。
D. その他()		•			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

幹事業									
事業	f	-	当初計画	1	と終変更計画	当初計画からの 変更の概要 ※1	都市再生整備計画に記載した	事後評価	時の完成状況
7.7	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容	(事業の削除・追加を含む)	まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	完成	完成見込み
道路	大垣一宮線交差点改良	16	L=1,300m	17	L=1,300m	過年度事業費の清算による事業費の 増加	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	•	
道路	駅北本郷8-7号区画道路	18	L=80m	27	L=80m	過年度事業費の清算による事業費の 増加	5事業費の 事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。		
道路	駅北本郷8-9号区画道路	26	L=120m	12	L=120m	過年度事業費の清算による事業費の 減少 工事繰越による事業期間の変更	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。		
公園	駅北本郷3号街区公園	52	A=3,315m²	52	A=3,315m²	事業年次、事業期間の変更 計画平面図の変更	計画平面図の変更による、目標及び指標への影響はなし。	•	
公園	市民の森羽島公園休憩施設設置事 業	3	1箇所	4	1箇所	事業費の精査による事業費の増加	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	•	
河川									
下水道									
駐車場有効利 用システム									
地域生活基盤 施設	平方排水路整備	60	L=180m	40	L=180m	事業主体の変更 間接補助へ変更	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	•	
地域生活基盤 施設	駅駐輪場駐輪用施設設置事業	-	_	6	2箇所	事業の追加	利用者の安全性、利便性が向上し、より快適に利用できるよう整備する。安全で快適な居住空間に関する目標に資する事業であるが、指標については据え置く。	•	
地域生活基盤 施設	防災備蓄倉庫整備事業	7	2基	7	2基	事業期間の変更 過年度事業費の清算による事業費の 減少	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	•	
地域生活基盤 施設	駅北本郷2号調整池	82	1箇所	65	1箇所	過年度事業費の清算による事業費の 減少 事業期間の変更	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	•	
地域生活基盤 施設									
高質空間形成 施設									
高次都市施設									
既存建造物活 用事業									
都市再生交通 拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地 総合整備事業									

^{※1:}事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業 事後評価時の完成状況 当初計画 最終変更計画 当初計画からの 都市再生整備計画に記載した 事業 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 事業箇所名 事業内容 事業内容 事業費 事業費 完成 完成見込み 地区再開発事 バリアフリー環 境整備事業 優良建築物等 整備事業 住宅市街地 総合整備 事業 街なみ環境整 備事業 住宅地区改良 事業等 都心共同住宅 供給事業 公営住宅等整 都市再生住宅 等整備 防災街区整備 事業

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
			当初計画	聶	是終変更計画	当初計画からの		事後評価	時の完成状況
事業	細項目	事業費	事業内容	事業費	事業内容	変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	完成	完成見込み
	防犯灯設置工事費補助事業	12	-	5 —		過年度事業費の清算による事業費の 減少	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	•	
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

^{::} ※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

- 177 PAICE 117								
			事	業費	事業	期間		
事業	細項目	事業箇所名	当初計画 最終変更 計画		当初計画	最終変更計画	進捗状況及び所見	備考
コミュニティバ	ス試行運行事業	市内全域	27	19	平成28年度	平成28年度	平成28年度に実施した試行運転 (H284~9)の効果検証を踏まえ、路 線数の増加(2→4)及び商業施設へ の停留所設置(6箇所)を運行事業 に反映し、平成28年10月から採用し 利用者ニーズに対応している。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

741 1 1 141 - 4	指 標		データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、	(参考)※1 計画以前の (ア))値	従前値 (イ)		目標値(ウ)			数値(エ)	目標達成度※		達成見	以内の ,込みの i無
		単位	対象、具体手法等)		基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし
指標1	駅北本郷地区の宅地化	%	地区内に存在する民有地の内、宅地として利用されている土地を対象とし、地区面積と	11	H18	48	H28	55	H30	モニタリング	H29 53	モニタリング	Δ		
10 35	率		の割合を評価値とする。		1110	10	1120	00	1100	事後評価	確定 ● 見込み 61	事後評価	0		
	市民の森羽島公園の1日		特定の時間(午前・午後・夕方)に公園内を1 周し、公園を利用している人数を測定し、平							モニタリング		モニタリング			
指標2	あたりの利用者数		日、休日の公園利用者の平均人数を滞在時間で割り、想定利用時間を乗じた数を評価値とする。	_	_	585	H28	643	H30	事後評価	確定 ● 700 見込み	事後評価	0		
+15-1西 0										モニタリング		モニタリング			
指標3										事後評価	確定 見込み	事後評価			
+15.4而 4										モニタリング		モニタリング			
指標4										事後評価	確定 見込み	事後評価			
+6+===										モニタリング		モニタリング			
指標5										事後評価	確定 見込み	事後評価			

指 標	目標達成度〇△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	土地区画整理事業の推進により、駅北本郷地区において良好な宅地が整備され、地域の活性化につながった。今後は、当地区の広域交通及び都市機能を活かし、商業系企業の誘致を推進することで、さらなる地域の活性化を図る。	
	近隣エリア(駅北本郷地区)の宅地化率の上昇もあり、市民の森羽島公園の利用者数調査の中でも子育て世代や高齢者、学生など老若男女を問わず利用されていることを確認しており、公園利用者の利便性の向上に努めた結果、利用者の増加につながり、市民の憩いとなる快適な住環境整備に結びついた。	
指標3		
指標4		
指標5		

^{※1} 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

^{※2} 目標達成度の記入方法

^{○ :}評価値が目標値を上回った場合△ :評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合× :評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

	指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の (ア)	D値 基準 年度	従前値 (イ)	基準年度	数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
その他の数値指標1	換気設備付防災備蓄倉 庫の設置数	箇所	市内における換気設備付防災備蓄倉庫の 設置数を計測する。	-	_	12	1100	モニタリン グ 事後評価 確定 ● 14	災害に強いまちづくりを目指したため、防災備蓄倉庫の整備 効果を評価する。	
	自転車駐輪用施設におけ る自転車等収容可能台数		市内における自転車駐輪用施設の収容可能台数を計測する。	-	_	2,347	1100	モニタリング	発災時にも効果がある駅駐輪 場駐輪用施設設置事業の整備 効果を評価する。	
その他の数値指標3								モニタリン グ 事後評価 見込み		

^{※1} 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・土地区画整理事業の推進により、駅北本郷地区において良好な宅地が整備され、地域の活性化につながった。今後は当地区の広域交通及び都市機能を活かし、商業系の企業の誘致を推進することで、さらなる地域の活性化を図る。

・市民の森羽島公園の利用者数調査の中でも子育て世代や高齢者、学生など老若男女を問わず利用されていることを確認しており、公園利用者の利便性の向上に努めた結果、利用者の増加につながり、市民の憩いとなる快適な住 環境整備に結びついた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度·実施時期·実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した	【実施頻度】毎年1回	他地区での土地区画整理事業を施行した
駅北本郷地区の宅地化率のデータ収集に よるモニタリング	予定はなかったが実施した ●	【実施時期】4月 -【実施結果】土地区画整理事業の進捗に伴い、数値が上昇している。毎年集	場合、今回のデータ収集内容を活用し、宅 地化率の確認とともにまちづくり方策に活用
よるモーダリング	予定したが実施できなかった (理由)	TI 美胞結果 7 工地区画登理事業の進捗に伴い、数値が工券している。 毎年集計しているため、宅地化率を把握することができた。	地化学の推認とともによりプラグ東に活用する。
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度·実施時期·実施結果	今後の対応方針等
地元組織である駅北本郷まちづくり委員会 からの意見聴収	予定どおり実施した	.【字妆.梅皮】\$L面如图内2回	・基盤整備が完成した当地区を先進事例と し、他地区でのまちづくりを検討する際にヒ
※開催回数:3回	予定はなかったが実施した ●	【実施頻度】計画期間中3回 【実施時期】平成28年1回、平成29年1回、平成30年1回	アリング等を実施する。 ・今後も地域住民が自ら考え、意見交換が
(H28∼H30)	予定したが実施できなかった (理由)	「【実施結果】今後のまちづくりの方針について確認することができた。	できる市民参加型のイベント等を通じて、ま ちづくりへの愛着を高める。
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施 i. 体制構築に向けた取組内容	時期・実施結果 ⅱ. まちづくり組織名:組織の概要	今後の対応方針等
羽島市平方第二土地区画整理組合理事会におけるまちづくり方針の検討	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した ●	・事業実施方針の検討。	羽島市平方第二土地区画整理組合理	・地区内の整備状況や土地利用及び整備 方針等について、各地区の地権者の代表者 と協議を行い、まちづくり体制を維持する。
云にのけるよりフヘッカ町の快的	予定したが実施できなかった (理由)	・組合員、地域住民への説明。	i争宏 	と励識を打け、よらうくり体制を維持する。 ・新たな市街地形成に向けた活動支援を引き続き進める。
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画検討会議	関係各課主幹級職員(都市計画課、区画整理課)	①令和元年8月20日 ②令和元年9月3日	羽島市建設部区画整理課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

	指標の種別		指標1		指標2	7	の他の数値指標1	7	の他の数値指標2
	指 標 名	駅北	化本郷地区の宅地化率 †		市民の森羽島公園の1日あた りの利用者数		換気設備付防災備蓄倉庫の設 置数		駐輪用施設における自 車等収容可能台数
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
	道路(大垣一宮線交差点改良) 道路(駅北本郷8-7号区画道路) 道路(駅北本郷8-9号区画道路) 公園(市民の森羽島公園休憩施設設置事業) 公園(駅北本郷3号街区公園) 地域生活基盤施設(駅北本郷2号調整池) 地域生活基盤施設(駅北本郷2号調整池) 地域生活基盤施設(下方排水路整備) 地域生活基盤施設(防災備蓄倉庫整備事業) 地域生活基盤施設(駅駐輪場駐輪用施設設置事業)	© - 0 0	駅北本郷土地区画整理事業の道路・公園等の公共施設の整備改 を開辺の公園施設の整備により、宅地利の増進及び事業地内の保留地購入状況は良好であり、評価値ははは61%と目標値55%を上回っている。	0 0	市民の森羽島公園の 日除け施設を整備したことや、土地区画整理 事業による近隣エリア の宅地化率の上昇も伴い、公園利用者の増加 につながり、評価値は 700人/日と目標値643 人/日を上回っている。		県立羽島高校の指定 避難所の追加指定、及 び市全体で不足が予 測される備蓄物を補完 するため、防災備蓄倉 庫を整備した。新たに2 箇所の倉庫整備により、災害発生時におけ る被災者を対象とした 備蓄機能の向上に貢		未利用地を新たな駐輪場として有効活用し、サイクルラックを設置したことにより、自転車の転倒防止と同時に自転車等収容可能台数の増加につながった。
提案事業	地域創造支援事業(防犯灯設置工事費補助事業) まちづくり活動推進事業(コミュニティバス試行運行事業)	0		0		_	献している。		
少比梅山羊									

※指標改善への貢献度

- ◎ :事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。○ :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に 貢献しなかった。
- ー:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確 なので、評価できない。

	誘致に注力することで宅地化率 の増大を図る。	施設等の利用者ニーズが高い	において、備蓄物を充実させ、 災害発生時に備える。	う回の駐輪用施設の産場合わせて、平成31年4月1日施行した「羽島市自転車安用推進条例」に基づき、市

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

	指標の種別	指標〇			指標〇			指標〇			指標〇		
	指標名												
種別	事業名·箇所名	目標 未達成へ の影響度	総合所見	要因の 分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

- ××:事業が効果を発揮せず、
 - 指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×:事業が効果を発揮せず、 指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △:数値目標が達成できなかった中でも、
- ある程度の効果をあげたと思われる。 一・事業と指標の間には、もともと関係がないことが 明確なので、評価できない。

※要因の分類

分類 I: 内的な要因で、予見が可能な要因。 分類 I: 外的な要因で、予見が可能な要因。 分類 II: 外的な要因で、予見が不可能な要因。 分類 II: 内的な要因で、予見が不可能な要因。 分類 II: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)		

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署	
	関係各課主幹級職員(都市計画課、区画整理課)	①令和元年8月20日 ②令和元年9月3日	羽島市建設部区画整理課	

添付様式5-② まちの課題の変化

	210		
事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
災害時の迅速な避難所運営活動	指定緊急避難所となっている公園や防災備蓄倉庫の 整備を行ったことで、市全体としての防災機能の向上に つながった。	・市の防災拠点となる新庁舎の建設を課題と捉え、市民ワークショップなどを開催し、実施設計を策定した。 ・令和3年7月の竣工を目指し、令和元年10月下旬から工事に着手している。	
災害に強い安全性の高いまちづく りのための都市基盤整備		災害に強い安全性の高いまちづくりのため、現在組合にて施行中の土地区画整理事業を引き続き支援し、計画的な都市基盤整備、土地利用を進める。	・災害時の防災拠点となる市役所の新庁舎の完成を目指 す。
			・羽島市平方第二土地区画整理事業地内の未整備の公 共施設の整備を進め、事業の早期完了を目指す。
·			

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方 策を添付様式5-③A欄に記入します。 これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を 添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5一③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A +P8	市役所新庁舎建設	引き続き、実施設計に基づき耐震性に優れた新庁舎建設工事を進めていく。	市役所新庁舎建設
A欄 効果を持続させるため に行う方策	羽島市平方第二土地区画整理事業の事業 推進	引き続き、公共施設の整備を進めていく。	土地区画整理事業の推進

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	災害時に防災拠点となる環境の整備	災害時に防災拠点となる環境を整え、災害に強く安全性の高いまちづく りを図る。	市役所新庁舎建設
改善策 ・未解決の課題を解消するための	災害に強い安全性の高いまちづくりのため の都市基盤整備	緊急救援活動を円滑に取り組むため、公共用地率の向上によりオープ ンスペースを確保する。	現在施行中の土地区画整理事業の実施
改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策			

フォローアップ又は次期計画等 において実施する改善策 を記入します。 なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4一③)を再確認した。
- 残された課題や新たな課題(添付様式5-2)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

本計画により実施した施設整備をきっかけに、羽島市中心市街地における防災施設及び駅北本郷土地区画整理事業(令和元年8月30日に換地処分の公告)の整備が完了しており、羽島市中心市街地における安全安心で快適な居住環境の提供をした取り組みは、市内他地域へも応用していくことができると考える。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年 以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォロー アップ計画を記入して下さい。

	指標		従前値	;·····	目標値:			評価値		目標	1年以内の 達成見込みの			フォローアップ計画	
	11 1/1	単位	IK III IE	年度		年度				達成度	有無		予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	駅北本郷地区の宅地 化率	%	48	H28	55	H30	確定 見込み	•	61	0	あり なし	→			
指標2	市民の森羽島公園の 1日あたりの利用者 数	人/日	585	H28	643	H30	確定 見込み	•	700	0	あり なし	→			
指標3				Н		Н	確定 見込み				あり なし	→			
指標4				Н		Н	確定 見込み				あり なし	→			
指標5				Н		Н	確定 見込み				あり なし	1			
その他の 数値指標1	換気設備付防災備蓄 倉庫の設置数	箇所	12	H28			確定見込み	•	14						
その他の 数値指標2	自転車駐輪用施設に おける自転車等収容 可能台数	台	2,347	H28			確定 見込み	•	2,413			→			
その他の 数値指標3				H			確定 見込み					→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項	目	要因分析	次期計画や他地区への活かし方	
数値目標	うまくいった点	本地区の課題及び目標に即した数値指標を設定し、着実に事業実現を図り、目標値を達成することができた。	地区の特性及び事業等に適した指標を選定す	
・成果の達成	うまく いかなかった点		వ .	
数値目標と 目標・事業との			他の公園についても、日除け施設等の利用者 ニーズが高い施設の整備を検討し、利用者増加	
整合性等	うまく いかなかった点		につなげる。	
住民参加	うまくいった点		市として各町でタウンミーティングを実施しているが、その他の方策としてワークショップの開催やアンケートの実施等、広く市民の意見を把握	
•情報公開	うまく いかなかった点	駅北本郷まちづくり委員会や組合施行による土地区画整理事業(平方第二地区)の理事会等、 一部の地権者のみの住民参加であった。	する機会を設ける。	
PDCAによる事業	うまくいった点	事業期間中に変更、追加した事業においても完了することができ、指標の達成につながった。	計画立案段階や事業推進段階において、住民 や関係機関の参画を図り、定期的に見直しを行	
・評価の進め方	うまく いかなかった点		う。	
その他	うまくいった点	地域の活性化とともに、企業誘致の可能な環境整備を行うことができ、東海道新幹線岐阜羽島 駅等を活かしたまちづくりの基盤整備を行うことができた。	現在、施行中の羽島市平方第二土地区画整 理事業(組合施行)において、市からの活動支	
との地	うまく いかなかった点		援を踏まえ今後も公共施設の整備を進めてい く。	

添付様式6一参考記述	今後、都市再生整備計画事業の活用予定	、又は事後評価を予定している地区の名称	(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間·公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署	
インターネット	羽島市ホームページに掲 載。	令和元年10月7日~ 令和元年11月5日				
広報掲載・回覧・個別配布	羽島市ホームページに公表する旨を広報紙に掲載。	広報紙(令和元年10月号) に掲載。	令和元年10月7日~	郵送、FAX、電子メール、持参。	羽島市建設部 区画整理課	
説明会・ワークショップ	_	_	令和元年11月5日	か、付参。		
その他	市役所窓口・コミュニティセン ターにて配布。	令和元年10月7日~ 令和元年11月5日				

	特になし。(意見なし)
住民の意見	

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

	委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験の ある委員	岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 駅北本郷土地区画整理審議会 委員	山田 俊郎 宇野 隆夫	令和元年11月27日	羽島市建設部	羽島市都市再生整備計	55 点 士
その他 の委員	羽島市福寿コミュニティセンター 指導員 羽島市防災研究会 理事(防災士)	加納 喜美子 林 和子	节和几平11月27日	区画整理課	画評価委員会要綱	羽島市

	審議事項※1	委員会の意見
	方法書	方法書に従って、事後評価が適正に行われたことが確認された。
	成果の評価	指標の目標値は全て達成され、数字上だけでなく、実際にその地域に住んでいる委員も効果を実感できていることが確認できた。
	実施過程の評価	区画整理事業のまちづくりに関する委員会の実施が事業の効果発現に寄与している。
事後評価手 続き等にか かる審議	効果発現要因の整理	効果発現要因について、各指標ごとに整理され、これらを今後のまちづくりへ繋げていくことが確認された。
70 田 政	事後評価原案の公表の妥当 性	インターネットや広報等により、適切に公表されたことが確認された。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に 進められたか、委員会の確認	事後評価の手続き及び内容について、妥当であると認められた。
	今後のまちづくり方策の作成	・更なる宅地化や企業誘致が進むことを期待している。・利用者ニーズや利用状況に合わせて公園施設整備を進めてほしい。・タウンミーティング等、住民がまちづくりに参加できる機会を今後とも大切にしてほしい。
今後のまち づくりについ	フォローアップ	特になし。
て審議	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当 か、委員会の確認	今後のまちづくり方策について、妥当であると認められた。
その他		
ツィ 南米古王の)詳細け「‡たづノリ☆付全証価禿員会チェッ	

^{- ※1} 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に 有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

有識者の意見聴取を行った場 意見聴取した有識	実施時期	担当部署
有識者の意見		

都市再生整備計画(第3回変更)

羽島市中心市街地地区

岐阜県 羽島市

平成30年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	羽島市	地区名	羽島市中心市街地地区	Σ.			面積	420 ha
計画期間	平成 28	年度 ~	平成 30	年度	交付期間	平成	28	年度 ~ 平成	30	年度

目標

災害に強く快適で心安らぐまちづくりを目指して

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、岐阜県の玄関口である東海道新幹線岐阜羽島駅を中心に位置し、市役所、文化センター、図書館などの公共施設があり、中心市街地として発展してきた地区である。
- ・本地区をエリアに含む、平成23年度から平成27年度の羽島市中心市街地地区整備計画では、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)を活用し、駅北本郷土地区画整理事業をはじめ、公共施設の耐震化、備蓄倉庫の整備、防災訓練等基盤整備と防災に関する整備を進めてきた。
- |・昨今の異常気象や自然災害など大きな災害に対する対策はまだまだ不十分であり、遅れている都市基盤整備の推進や災害時における活動準備を行う必要がある。

課題

- ・災害に強いまちづくりのために都市基盤整備を進めている、駅北本郷土地区画整理事業地内においては、道路、公園、調整池の整備が遅れている。また、事業地内主要幹線である(都)平方大浦線から緊急輸送道路である(主)大垣一宮線へのアク セスのため交差点改良が必要である。
- ・・地区南部において計画されている羽島市平方第二土地区画整理事業による宅地化に合わせて、水害対策として羽島市公共下水道計画に基づく排水路整備が必要である。
- ・地域住民の憩いの場として、また羽島市地域防災計画で指定緊急避難場所となっている「市民の森羽島公園」において、平常時及び災害時にも使用できる休憩施設の整備が必要である。
- ・地域住民における災害活動の支援として、食料や資機材を保管し、災害時の迅速な避難所運営活動を図ることができる換気設備及び照明備え付け防災備蓄倉庫の整備が必要である。
- |・駅駐輪場に自転車が乱雑に置かれている状況を改善し、地域住民が快適に利用できるよう、駅駐輪場に駐輪用施設の整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

「羽島市第六次総合計画(前期)」

- ~人とまちを共に育み、安心して暮らせる羽島市~
- 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり
- 次代を担う子どもたちが、羽島市らしさを感じながら豊かな心を身に付け、健やかに成長することができるよう、家庭、地域、学校及び企業等が一体となって子どもを育むまちをめざす。
- 活力とにぎわいのあるまちづくり
- 我が国の主要都市を結ぶ国土軸である広域交通網を有する立地特性と豊かな自然環境を活かし、経済活動の活性化を図るとともに、多様な交流の促進によるにぎわいのあるまちをめざす。
- 安心して快適に暮らせるまちづくり
- 地震や風水害などの自然災害への備えや交通安全、防犯などの安全対策に努め、安全・安心なまちづくりを進めるとともに、だれもが元気に、それぞれの暮らしやニーズに合った快適な生活を実現できるまちをめざす。

目標を定量化する指標

<u>水とた 至 10 / 単沿 水</u>							
指標	定 義		目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅北本郷地区の宅地化率	%	駅北本郷地区の公共用地以外の土地面積に占める宅地面積の割合	防災機能を持った公園、幹線道路ヘアクセスする道路及び調整池の整備により、駅北 本郷地区を中心に人口を集中し、災害に強いコンパクトシティの形成を図る。	48%	平成28年度	55%	平成30年度
市民の森羽島公園の1日あたりの利用者数	人/日	市民の森羽島公園の1日あたりの利用者数	憩いの場となる公園を整備することで、快適な居住環境を提供する。	585人/日	平成28年度	643人/日	平成30年度

_		
計ī	画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
	【安心して暮らせる都市基盤施設及び防災施設の整備】	■基幹事業
	・災害に強い安全性の高いまうづくりのため、駅北本郷土地区画整理事業地内の道路、公園(3号街区公園)及び調整池の整備を実施する。公園(3	
	号街区公園)については、災害時に防災拠点となる公園として、緊急車面の入ることができる通路や防災トイレ(バリアフリー対応)の整備等を実施す	·道路 駅北本郷8-7号区画道路
	ラ周色の図/1000 Clas、火台時に防火波点によるの図CCC、米心平向の八句にCMできる地域に関火に1000、バランプ 対心/のを開する大心 7 2	·道路 駅北本郷8-9号区画道路
	る。 ・水害に強い安心して暮らせるまちづくりのため、羽島市平方第二土地区画整理事業の宅地化に合わせて、羽島市公共下水道計画に基づく排水路の	
	整備を実施する。	・公園 市民の森羽島公園休憩施設設置事業
	・災害時に安心できるまちづくりのため、羽島市役所庁舎及び羽島高等学校において、換気設備及び照明備え付け防災備蓄倉庫の整備を実施すると	
	ともに、指定緊急避難場所である「市民の森羽島公園」において、災害時に使用できる休憩施設の整備を実施する。	・地域生活基盤施設(地域防災施設) 平方排水路整備
		·地域生活基盤施設(地域防災施設) 防災備蓄倉庫整備事業
		□提案事業
		 -
	[wixings 4.7++ 3.11]	■甘払市要
	【快適に暮らせるまちづくり】	■基幹事業
	・地域住民の利便性・快適性向上のため、駅北本郷土地区画整理事業地内において新たな公園の整備を実施するとともに、「市民の森羽島公園」に	・公園 駅北本郷3号街区公園
	おいて休憩施設の整備を実施する。	・公園 市民の森羽島公園休憩施設設置事業
	・安心して快適に暮らせるまちづくりのため、夜間の防犯や通行利便の向上を目的とする防犯灯の設置費用に対し一部を補助する。	・地域生活基盤施設(自転車駐車場) 駅駐輪場駐輪用施設設置事業
	・少子高齢化に伴う交通弱者の増加対策等、利便性の高い公共交通網の整備に向けた運行ルートの見直しのため、コミュニティバスの運行を試行す	
	る 。	□提案事業
	・通勤・通学・来訪者などの自転車利用者及び歩行者の安全性、利便性を向上し、より快適に利用できるよう、駅駐輪場駐輪用施設を設置する。	・地域創造支援事業 防犯灯設置工事費補助事業
		(関連事業)
		・コミュニティバス試行運行事業
	- 10	
その	D他	

交付対象事業等一覧表

交付対象	東事業費 23	6.0 交付	寸限度額		94.4	国	費率	().4						
	·	•								•			(金額の単	単位は百万円)	
幹事業			1	1		(参考)	事業期間	交付期間	内事業期間	(会会)合仕	六八批問由			六사상숙	費用便益比
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	終了年度		終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	复用使益氏 B/C
道路		大垣一宮線交差点改良	羽島市	直	L=1,300m	平成28年度			平成28年度	17.4	17.4			17.4	_
道路		駅北本郷8-7号区画道路	羽島市	直	L=80m	平成28年度	平成28年度	平成28年度	平成28年度	27.0	27.0	27.0		27.0	_
道路		駅北本郷8-9号区画道路	羽島市	直	L=120m	平成28年度			平成29年度	11.8	11.8	11.8		11.8	_
公園		駅北本郷3号街区公園	羽島市	直	A=3,315m ²	平成29年度			平成30年度	52.0	52.0	52.0		52.0	_
公園		市民の森羽島公園休憩施設設置事業	羽島市	直	1箇所	平成30年度			平成30年度	4.0	4.0			4.0	
	盤施設(自転車駐車場)	駅駐輪場駐輪用施設設置事業	羽島市	直	2箇所	平成29年度			平成29年度	6.4	6.4	6.4		6.4	_
	盤施設(地域防災施設)	防災備蓄倉庫整備事業	羽島市	直	2基	平成29年度			平成29年度	7.2	7.2			7.2	
地域生活基	盤施設(地域防災施設)	駅北本郷2号調整池	羽島市	直	1箇所	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	65.0	65.0	65.0		65.0	_
地域生活基	盤施設(地域防災施設)	平方排水路整備	羽島市平方第二 土地区画整理組合	間	L=180m	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	60.0	60.0	60.0		40.0	_
合計 案事業										250.8	250.8	250.8	0	230.8	
		+ 4k /h = r /p	± * - / L	+ /88	101#	(参考)	事業期間	交付期間	内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象	
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費	
	防犯灯設置工事費補助事業	計画エリア全域	羽島市	直	箇所	平成28年度	平成30年度	平成28年度	平成30年度	5.2	5.2	5.2		5.2	
地域創造															
支援事業															
事業活用調	1														
查	·											1			
まちづくり活															
動推進事業															
合計										5.2	5.2	5.2	0.0		…в
参考)関連事業														236.0	
ック/財圧争末	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模			かに〇)			期間	全体事業費			
	* *				/九1天	直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度				
コミュニティル	バス試行運行事業	市内全域	羽島市	国土交通省			0			平成28年度	平成28年度	18.5			
		+													
合計												18.5			